

球体派「世界は平面?!」 / 平面派「世界は球体?!」 / 両者「バカか、こいつら!!」 | 世界球体説 (地球平面説)

総合目次 [PDF](#) [HTML](#)

世界は球体または平面

回りくどい説明を避けるため「地球」と表記しているところがありますが、「世界は球体」と暗に認めているわけではありません。

全般に、説明内容を判断するのはご自身です。

太陽は上昇して下降しているから、地球は自転し、太陽の周りを公転している。だから宇宙はあるし、世界は球体

人は透視投影（いわゆる遠近法）で物体を眺めますので、同じ高さを移動していれば、遠くなら低く、近くなら高く見える様子が、太陽の上昇や下降に見えるため、太陽の軌道の見え方で世界の形状は判断できません。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。

世界が平面なら、日本から自由の女神が見えるはずが見えない。だから世界は球体

遠くにあるから小さくて見えない、という説明も成り立ちます。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。

遠ざかる船は底部分から消えていく。だから世界は球体

遠くにある物体は小さく見えるので、下から消えていくと言われる頃には船は小さく、船が小さければ船の底も小さいので、点にしか見えないうらい小さいのに、船底から消えていく様子が見えるかな？と思います。

> 本当に船底から消えて行くのか、まず確認してから考察したいです。

世界が球体なら地面は丸いので、遠くにある建物は傾くはずが傾いてない。だから世界は平面

世界が球体なら、建物は観察場所から離れれば離れるほど傾きますが、わずかしき傾きませんし、小さく見えますので、傾きの判別はまずできません。傾きを判別しようとするなら、超長距離に超巨大建物を建設しなければなりません。

ほぼ同じ理由で、遠くで上昇している気球の傾きも判別できません。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。

世界が平面なら、旅客機の移動距離と飛行時間に食い違いが出るので、平面はあり得ない。だから世界は球体

飛行機の速度計は風相対です。自動車の速度計のように、地面相対の速度ではありません。世界が平面なら、場所と場所の距離は球体の場合と異なります。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。飛行機の移動時間の比較は、距離を平面用に置き換えてからにしなければならぬからです。

気球に設置したカメラから撮影した世界は丸かった。だから世界は球体

広角レンズは小さな範囲に多くを映すことを目的としていますので、画が歪み、直線は曲線に映る場合があります。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。気球に設置したカメラのレンズをハッキリさせてないからです。

世界が平面なら、上空で首を横へ回転しながら世界を見下ろした場合、円（世界）の縁までの距離に不均等さが見られるはずが見られない。だから世界は球体

平面世界の円の縁間際で観察したのであれば、不均等な距離は認識できますが、ほぼ中央では、距離の不均等は認識できないと思われます。世界がとにかく広いことは間違いなく、遠くまで見渡せないからです。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。観察場所がハッキリしないからです。

道路などの長さを計測する測定機器は、数十メートルごとに区切って計測するので、地面は無視できないくらい丸みを帯びている。だから世界は球体

> 球体または平面のいずれの根拠になりません。測定機器の精度が低だけの可能性があるからです。

世界が球体なら、線路も地面の丸みに合わせて製造されるはずが、直線で製造しても問題が起きてない。だから世界は平面

100m で区切って線路を製造しても、円（世界）と接線の隙間は僅かで、地面のデコボコの方が大きな障害になりますから、線路を直線で製造しても、何の問題も起きません。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。

世界が球体なら、飛行機は地面の丸みに合わせて操縦するはずがしてない。だから世界は平面

飛行機が 900km/時で飛行していても換算すると 250m/秒で、1 秒間に 250m 進んでも、円（世界）と接線の隙間は 1cm未満です。距離が長ければ長いほど、円と接線の隙間は広がりますが、常に地上の丸みを意識しながら飛行する必要はありません。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。世界は球体でも、人が認識できる範囲の地面はほぼ平面だからです。

球に光を当てると照らされた箇所が部分的に丸く光り、テーブルに光を斜めに照らすと直線状に光る。夕日に照らされる海面は直線状に光るので、海面は丸み帯びてない。だから世界は平面

直線状に照らし出された海面は地球の点に過ぎず、全体で見れば点が丸く照らされているところを、局所に注目して、直線状の光を観察しているに過ぎない…という説明も成り立ちます。

> 世界は球体または平面のいずれの根拠になりません。局所に注目して観察しているからです。

地球は太陽を周回し、太陽系は天の川銀河を周回し、天の川銀河は銀河系を疾走しているので、北半球から北極星を撮影すれば、星たちが北極星を中心に回転する画にならないはずだが、なっている。地球が宇宙を移動しているにしてはおかしい。だから世界は平面で、かつ宇宙は無い

地球から観察できるすべての星と一緒に移動していれば、成り立ちそうですが、他の地球クラスの星が、地球が引っ張っている星を引っ張ろうとしていたら、成り立ちません。

> かなり怪しいです。話を膨らませ過ぎたんじゃないか、と個人的に思っています。

詳しい人でも知らない場合がある気圧の差

上空と地面付近では気圧の違いから、光は屈折し、視線の直進方向には無い物体が見える「大気差」という現象があります。地面に隠れて見えないはずの太陽が見える現象です。

他所様で「地球平面説」の話を書く際は、大気差を忘れてはなりません。

大気差の仕組み | 見えている月がそこにはない: 光と色と

<https://optica.cocolog-nifty.com/blog/2009/11/post-a0f7.html>

当時の技術では、アポロはヴァンアレン帯を通過できなかったはずなのに、通過して人は生存している。だからアポロは月へ行ってない

これもかなり怪しいです。放射線が飛び交う中を、特別に用意した遮蔽物無しで通過しているのに、人は生存しています。

月へ行った検証ばかりですけど、大した推進力も燃料も無いのに、よく月から地球へ帰って来れたな、と個人的には不思議に思います。月の引力は地球の1/3なので離脱はたやすい、という理由で治めようとしているんでしょうけど。

BBC What Happened on the Moon アポロ計画の嘘を徹底検証 人類は月へ行っていない 前編 (収録時間 1:41:29)

48:36 放射線

50:42 ヴァン・アレン帯

<https://www.youtube.com/watch?v=RQnyeItAWXo&t=2916s>

球と円

画面に「球」が映っていても、画面が平面なら「円」です。陰影などがあるから円が球に見えますが、平面画面に映った時点で球は円です。

平面画面に丸い地球が映し出されていても、円という「平面」を表示してまでするので、世界の形が「球体」であることを証明している訳ではありません。

未確認飛行物体

UFO に宇宙人や人が乗っていることを誰も証明できません。「UFO に乗った!!」という証言があっても、乗った証拠はありません（残念ですが…）。ですから、「UFO には宇宙人が乗っている」は思い込みです。

CG加工技術も AI の動画生成技術も向上してきますので、今となっては如何様にも映像を作り出せますから、UFO はラジコン操作による無人機の可能性があります。無人機なら加速度を気にせず急旋回できます。

昔のロケット技術者が、「（ロケットを必要とさせるために）実在しない敵を作り出す」旨の発言をしていた、と一緒に住んでいた女性の証言がありますが、今となってはその発言を証明できません。でも、「空の外側から未確認の物体が飛来して、地球に攻撃を加えるかも…」なんて話が広まれば、ロケットの必要性が増すのは確かです。

「ここに書いてあるから正しい」と思うのはやめて、ご自身で検索して判断しましょう。ロケットを最初に発明した人は誰だったかを知ろうとすれば、辿り着くと思います。女性の証言は YouTube で視聴しました。

※墜落した UFO に搭乗していた宇宙人を治療する様子が画面に映し出されたことがあります。昔から描かれていた特徴的な宇宙人のイラストと、姿形がほぼ同じとはどういうことでしょうか。想像で描かれていた未知の存在と、実際の姿が一致するなんてことがあるのでしょうか？すでに遭遇済みだった…そうですか。確かに説明が付きます。

世界は球体または平面の具体的な検証方法

このセクションに書かれていた内容は不完全なことが判明しましたので、ひとまず削除します。

人工衛星

GPS が機能しているのは人工衛星が地球の衛星軌道を周回しているからなので宇宙は存在する…、実は宇宙は無いと聞かされていけば、宇宙が無い前提でGPS を製造しますので、GPS機能が宇宙の存在証明にはなりません。

YouTube検索「雲の中の太陽」について

太陽が 1億4900万キロ先にあり、雲の密度が高く、光が透過しなければ…

雲の中にあるように見える太陽の奥にあたる雲も、光を透過しないはずが、透過して太陽が見えています

(太陽が 1億4900万キロ先にあるなら、「奥にあたる雲」は、観察者からすると「手前の雲」になるので、光が雲を透過しなければ太陽は見えないはずが見えています)

太陽が 1億4900万キロ先にあり、雲の密度が低く、光が透過するなら…

雲の中にあるように見える太陽の脇にあたる雲も、光を透過して明るくなるはずが、透過せず暗くなっています

いずれにしても、太陽が 1億4900万キロ先にあるなら説明が付きません。また雲がある中で、観察者と太陽の間の雲が筒状にくり抜かれることは、自然現象としてあり得ません。

雲の中の太陽 夕日の倍速再生 フラットアース 地球平面説

<https://www.youtube.com/watch?v=-LO3si5Bm0o>

雲の中にしまわれてる、、太陽。

<https://www.youtube.com/watch?v=EuQedAoYK3A>

雲の中に沈む太陽 Setting sun in the clouds

<https://www.youtube.com/watch?v=Dfc1cs-P6F0>

結論

世界は平面で、太陽は雲と同程度の高さで、平面世界を周回している…と、個人的には思います。証明はできません。

南極大陸

南極は許可が下りなければ上陸できず、一般人には許可が下りないとのこととして、南極や北極に秘密が隠されているのではないか…という疑いです。

吹雪の中を進んでいたら、いつの間にか平原に出ていて春の陽気だったとか、渡り鳥は地球の空洞を通過して来るとか、ドイツ軍が…とか、上の世界へ通ずる道が…とか、ありますけど、一般人を立ち入り禁止にする理由はなんでしよう。

南極大陸の先へ進んだら、壁に囲まれているんじゃないでしょうか。ただの憶測ですけど。

※「そうゆう映画があるんだけど!？」と思った方は…それです。ここはそうゆう世界かも知れないのです。

広大なウソ

世界は球体で、世界の外側には「宇宙」と呼ばれる真空空間があり、自分達がいるところが世界ではなく、宇宙全体が「世界」で、「とある星に住んでいる生物を『人』と呼び、人は地球で大手を振って生きているが、想像を絶する広さの宇宙の中では、ちっぽけな存在でしかない」ということにして、あまりの広さから人は思考が停止し、些末なことばかり教え込まされ、大切なことが見えないように仕向けたと思われれます。

もし、世界とは「ここ」で、大気圏の外側には何も無ければ、「なぜ自分達は生まれて来たんだろう？ 広大ではあるが、この閉鎖空間に…」となり、精神世界に興味を持ってしまい、生きる理由について真剣に考えますから、お金に興味を持たなくなり、「目指せお金持ちゲーム」に参加してくれなくなります。

お金は生きる上で必要であって、お金を集めるために生きるわけではありませんから、お金がたくさんある人と少ない人がいるこの世界はおかしいと思うようになり、極端ではありますが、全世界の人が精神世界に興味を持って生きると、お金を独占している人達が〇っていることが分かり、非難の眼差しが世界中から向けられるようになります。

お金を奪い合う「お金強奪戦」に参加してもらって、自分達が優位な状況を維持したかったんじゃないでしょうか。

宇宙詐欺

当ページの話と関係性がある動画ですが、当サイトと関係性はありません。動画内容を判断するのはご自身です。

宇宙詐欺：NASAの珍プレー集（収録時間 14:32）

<https://www.youtube.com/watch?v=jotqXlrbOSU>

この世で最も恐ろしい事実 🙄（収録時間 15:32）

<https://www.youtube.com/watch?v=Qt6o8dzVgjI>

簡単な更新履歴

2026-06-11

- §「球状」を「球体」に変更した

2026-06-10

- §「球と円」を追加した
- §「人工衛星」を追加した
- §「遠ざかる船は底部分から消えていく。だから世界は球状」の説明を変更した
- §「YouTube検索「雲の中の太陽」について」の「…雲の密度が高く、光が透過しなければ…」に説明を追加した
- 全体的に説明を調整した

最終更新日 2026-06-11

[まこと](#)